

「授業年間計画表」(シラバス)

令和5年度版

教科・科目	教科	科 目	単位数	履修学年
	芸術	音楽Ⅰ	【必修修】 2 単位	1 年 選択
目 標	音楽への更なる興味・関心を深めるために歌唱・楽器演奏や鑑賞を行い、音楽の楽しさや技術を身につけ、生活や社会の中の音楽や音楽文化と幅広く関わる資質、能力を育成する。			
使用教材	教科書：教育芸術社 MOUSA 1 副教材：未定			
評価の 観点・ 評価規準	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造を理解し、曲のイメージを自分なりに表現する技能を身に付け、歌唱・器楽・創作などで表している。		各楽器の特性をとらえ作品に対して自分の感性をどのように表現したり、音楽のイメージを自分なりに評価しながら美しさを味わって聴いたりしている。	音楽を愛好する心が態度、参加意欲に出て自ら学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	実技テスト・鑑賞プリント・感想文で評価			
学期	学習内容		学習のねらい	学習活動
1	音楽の楽しさを味わう。		中学校で勉強した歌や知っている歌を使って、クラスに慣れる。 ミュージカルを楽しむ。	・校歌(暗譜) ・上を向いて歩こう ・サンタ・ルチア(イタリア語) ・楽器演奏 ギター (コード) ・楽典 〈鑑賞教材〉 ・サウンド・オブ・ミュージック ・三大テノール
2	音楽による世界への興味 アンサンブルを楽しむ。		外国の曲から、その国の特徴をつかみ、文化を理解する。 世界の音楽を知る。	・野ばら(ドイツ語) ・少年時代 ・沖縄音楽 ・ギター (メロディ) 〈鑑賞教材〉 ・ウエストサイド物語 ・ミュージックベル
3	合唱の充実		合唱によってクラスが一つにまとまる。	・楽器演奏 ピアノ ・楽典 〈鑑賞教材〉 ・交響曲第9番(ベートーヴェン) ・レミゼラブル
学習上の留意点	個々の感性をそこなわないように注意する。			

「授業年間計画表」（シラバス）

R 5 年度版

教科・科目	教科	科 目		単位数	履修学年
	芸術	デザイン工芸Ⅱ		2 単位	3 年 選択 コース
目 標	・頭で考え、手を動かして物をつくる体験により自己を見つめ、創造性と可能性を発見し、それぞれの個性を引き出し表現することを目標とする。 ・デザインの、工芸的作品の制作を通して生活の中の美に関心を持ち、生活に主体的に関わろうとする態度も育てる。				
使用教材	教科書：なし 副教材：				
評価の観点・評価規準	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の工夫	創造的な技能	鑑賞の能力	
	興味・関心をもって臨み、意欲的・主体的にアイデアを考え、作ることの喜び、手作りの温かみを感じ制作できたか。	思い浮かんでくるイメージやアイデアをどれだけ展開・発展させ、この様々な思いを組み立てて、1つの作品としてまとめていくことができたか。	自分の思い描いたものを形にしていくために必要な、用具の使い方・表現方法を習得することができたか。また、魅力的に表現することができたか。	芸術文化・伝統工芸を尊重し、作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然と美術との関連を理解することができたか。	
評価方法	目標に対しての到達度を点数化する。作品点。				
学期	学習内容		学習のねらい	学習活動	
1	・授業ガイダンス ・面分割による構成の応用		・年間の授業の進め方、心構え等について理解し、作品制作への意欲を持つ。 ・デザイン工芸Ⅰで学んだことを思い出し、さらに深い知識を身につける。	・授業の進め方、心構え等について説明を聞く。 ・デザイン工芸Ⅰで学んだ知識をさらに深め、より複雑な面分割、より多彩な色彩を用いた構成作品を制作する。	
2	・多様な構成表現 ・コラージュ		・新しい表現方法を学び、身につけることで表現の幅を広げる。 ・決められた色、模様の中から美しい配色、模様の組み合わせを構成する力を育てる。	・様々な表現方法の学習を通して、構成作品を制作し、デザイン・色彩理論に立脚した美しい構成及び視覚伝達方法の探求を実践する。 ・色紙や千代紙などを使って、コラージュを用いた平面の構成作品を制作する。	
3	・モダンテクニック ・構成表現の応用		・抽象的、直感的な表現を学び、偶然生まれる色合いや模様の美しさを感じる力を育てる。 ・表現方法を工夫する中で自己表現能力を高め、作品として表現する能力を育てる。	・近代における抽象的な表現を学ぶ。 ・モダンテクニックを用いた平面の構成作品を制作する。 ・これまでの学習を踏まえ、様々な表現方法を用いた平面の構成作品を制作する。	
学習上の留意点	制作することの楽しさを味わう				